

集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール: sugimura1950@gmail.com

○石叫▽

「ホーリネスは愛である」

①

私たちの北米ホーリネス教団は、一九二一年に日本ホーリネス教会監督の中田重治の一声によって生まれた。その直前、南加ホイティアのフレンド教会の日本語部で、当時バイオラ大学の学生だった中田監督の次男・羽後が牧会をしており、その聖書研究が燃えた。当時を懐かしんだ羽後は一九五七年、「村の小さな教会」(聖歌300)を作詞している。その頃、日本のリバイバルを引っ提げて来た中田重治はそのパッションと雄弁さで、後に五人の本教団創立者となる青年たちの心を捕らえた。当時、ロサンゼルス近郊には二十近い日系人教会があったが、彼らは中田監督の説教に心燃やされ、ホーリネス教会を建てたいとの志をいだいて、監督に「私たちのために牧師を送って下さい」と迫った。そこで、ケンタッキー州の神学校で学んでいた葛原定市が呼ばれることになった。まだ教会もない、ただ、数名の青年たちの熱意に圧倒されたことだった。

さて本教団はアライアンス教会創設者・A B シンプソンが提唱した「四重の福音」(新生、聖化、神癒、再臨)の教理に立つ。「新生」において神の救いに入れられ、神の国が始まり、「聖化」によって罪の意識に目覚め、さらなる恵みの高嶺に入れられる。「神癒」によって肉体のみならず、悔い改めと信仰による心の癒しを体験し、「再臨」によって私たちの救いが完成するのであり、中でも本教団はその名称の由来となった聖化つまり「ホーリネス」を強調する。

太平洋戦争中、日系二世の兵士たちはアメリカのために戦った。それが家族を強制収容所から解放し、日系人に対する人種的迫害から救い出す道だと信じたからである。それによって、後に紫勳章部隊(戦場で勇敢に戦った兵士に手渡される勲章)と呼ばれる日系二世部隊が生まれ、その勇猛果敢さにおいてアメリカ陸軍史上、前例のない部隊となった。同様に、主に献身した日系二世たちも、このアメリカの地で宣教の最前線に立った。彼らの宣教に対する思いが「日系人福音宣教協力会」(J E M S)を創設し、祖国日本への伝道に邁進したのであった。片や二世のホーリネス教会出身者たちは、一世から受け継いだ「ホーリネス信仰」を彼らなりに受け取め、それまで青年部として日本語部の傘下にあった彼らが終戦直後に英語部を併設、さらに成長・発展させていった。

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。